

「兵庫東流域下水汚泥広域処理場汚泥処理施設改築工事」を受注

～下水汚泥エネルギー有効利用，温室効果ガス排出量削減を推進～

当社は、メタウォーター株式会社、日鉄エンジニアリング株式会社、三菱電機株式会社、佐藤工業株式会社との5社にて構成した特定建設共同企業体で、地方共同法人日本下水道事業団から「兵庫東流域下水汚泥広域処理場汚泥処理施設改築工事」（以下、「本工事」）を受注し、2021年10月4日に工事請負契約を締結しました。

現在、兵庫東流域下水汚泥広域処理場では下水汚泥を全量焼却処理していますが、施設の老朽化が進んでいます。兵庫県では下水道資源の有効利用を推進しており、本工事では、既存設備の改築に加え、国内最大級の汚泥消化施設及び汚泥燃料化施設を新設します。官民連携により、下水汚泥からのバイオガス・汚泥燃料の製造、それらの利活用に取り組み、兵庫県内での下水汚泥エネルギーの有効利用と温室効果ガス排出量削減を推進します。

本工事の遂行により、下水処理場の付加価値向上ならびに地球温暖化防止に貢献してまいります。

【兵庫東流域下水汚泥広域処理場汚泥処理施設改築工事の概要】

①受注者：神鋼環境ソリューション・メタウォーター・日鉄エンジニアリング・三菱電機・佐藤工業特定建設共同企業体

②工事概要：

- (1) 汚泥消化施設（1槽あたりの貯留容量9 000 m³ × 4槽の鋼板製消化槽）・汚泥燃料化施設（2系列）等の機械設備工事
- (2) 上記に付随する電気設備工事，土木工事及び建築工事

③事業方式：DB方式（Design：設計，Build：施工の略で設計施工一括発注方式のこと）

④本事業の特長：

- (1) 老朽化した汚泥処理施設の更新
兵庫東流域下水汚泥広域処理場の安定運用に向け、汚泥処理施設を更新します。
- (2) 国内最大級の汚泥消化・汚泥燃料化施設の新設
国内最大級の鋼板製消化槽と汚泥燃料化施設を新設し、官民連携で下水汚泥エネルギーの有効利用と温室効果ガス排出量削減に取り組みます。

【兵庫東燃料化設備 完成イメージ】



【汚泥処理施設の処理フローおよび主要機器の特徴】

